京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ケ月前金三十錢▲三ケ月前金九十錢▲六ケ月〔…〕▲郵税一ケ月十五錢
廣告料　▲五號活字十七字詰一行金〔…〕▲特別廣告五號活字十七字詰一行一圓
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久靜一郎
發行所　京城西小門町　京城新報社　電話六六三番　振替口座京城四五六番
仁川支局　仁川宮町三丁目
東京支局　東京市京橋區南金六町七番地

●東京たより

●最も熱烈なる國民の輿望を擔ひて南極探檢の途に上りし白瀬中尉の一行は成功を將來に期するの覺悟を以て一先づシドニーに引揚げ、同探檢隊を後援せる[illegible]會長大隈伯に代て國民の援助を仰ぐため一行を代表して歸國の已むなきに至る。吾人は探檢隊がシドニーに滯在中の[illegible]心情を察して憫々の情禁ずる能はざるものに候。

●南極探檢隊が紀元節の佳節を以て紐西蘭を出帆して以來、シドニーに引揚ぐるまで約三ケ月間南極海中の暴風怒濤と戰ひ、幾多の艱難と幾多の辛酸とを嘗め盡し、但人の未だ想像し得ざる危險に遭遇し、一意其事業を貫徹せむ事に努めたるも、時期既に逸し前途に輝く光明は氷山氷海に遮られ、船を行るべくもあらず、白瀬隊長以下痛憤に堪へで、一先づ引返すの止むなきに至りしを聽けば、誰か隊員の爲に同情せざるものあらむや。

●而かもシドニー政廳は一種の猜疑心を以て僅かに不完全なる港灣の一角に上陸を許せしのみか、同地新聞は何等の同情を寄するなく暴罵を與へ一行に加へたりき、然るに其後濠州聯邦政府の厚意に依り多少の便宜を得たりとするも、今や列國の視線は實に彼一個探險隊に集まれり、吾人は列國環睹の中にある日本の探檢隊をして其初志を貫徹せしむる爲に我國民は一層の後援を致さゞるべからざるを以て今日の急務なりと相信じ候、野村船長の談によれば、今回の探檢は時機を遲れたるため其の目的を達する能はざりしも極地の探檢は決して不可能事に非らざる確信を得たりと、そも此の確信たるや彼一行が艱苦氷海の危險を冒し死生の間を往來して後得たる確乎たる信念に外ならざれば決して一種空想に驅られたる所信には無之候、此信念あるがため彼一行は是非共再擧を企て世界の耳目をして驚かしめんと覺悟いたし居候も、何を申しても先立つものは金の問題なり、須らく日本の探檢隊として我人より醵められつゝある彼一行をして、日本人の體面を保嫉せしむ可きは一に我國民の責任に有之候、

◎彼一行再擧の經費は約七萬圓なりと之に對する我政府は何爲ぞ斯く冷淡なるや、政府にして顧みざるとすれば同情ある國民は此際躊躇するの秋にあらず、奮ひて彼等のために義金を投せざるべからず、吾人は南極探檢再擧に就て國民の熱烈なる同情心を喚起せんと欲するものに候。（支局靄生）

●京城各小學校 兒童府縣別

最近の調査にかゝる京城民團立各小學校在學兒童の原籍府縣別は左の如し右の統計になれば在學兒童は各府縣に亘り只沖繩縣のみ一名の兒童をも出さゞりしが府縣中兒童の最も多數なるは山口の三百五十名東京の二百九十名是れに亞ぎ福岡の二百九十五名長崎の二百七十九名以下序次を爲し尤も少數なるは青森の十一名なりとす

東京	二九〇	神奈川	三九
埼玉	二九	千葉	二三
茨城	二三	山梨	二三
新潟	一二九	群馬	一七
栃木	二一	長野	五八
福島	四九	北海道	三一
宮城	一三六	岩手	一四
青森	一一	山形	二九
秋田	三〇	三重	七四
愛知	六八	靜岡	五六
滋賀	五六	岐阜	四一
福井	六七	石川	七〇
富山	四四	京都	八三
大阪	一八三	兵庫	一〇五
奈良	一九	和歌山	三〇
徳島	二九	高知	二一
鳥取	三八	島根	五四
岡山	一〇八	廣島	一六七
山口	三五〇	香川	七一
愛媛	七四	長崎	二七九
福岡	二八五	大分	二一五
佐賀	一七三	熊本	一八三
宮崎	一七	鹿兒島	八九
計	三、八二一		

●海底電線の布設

釜山を起點として全羅南道巨文島を經て布設中なる海底電線は五月七日同道興陽郡道北面禾玉里迄の布設を了り更に同地より陸上線を分設し興陽郵便局の電線に接續せしむる筈なり

●釜木間沿岸航路

釜山滊船會社は六月一日より釜山木浦間の沿岸航路を開始し麗水、羅老島、興陽及海南等に寄港せしむる事に決定したるが右に要する船舶は當分の内光榮丸（百二屯）を以て之れに充て五日目毎に航海をなす筈なり

●有望なる黒鉛鑛

咸鏡南道定平郡與仁面に於ける黒鉛鑛區は福岡縣人三原一二、濱崎吉の兩名主となり去る五月より作業に着手し居るが採取したる鑛物は門司に輸出し米國に送る計畫にて目下は鑛夫四十餘名を使役するに過ぎざるも將來益々事業の擴張をなす筈なりと云ふ

●京畿管内の農況

京畿道管内各郡に於ける本年の農況を聞くに麥作は一般に非常に良好にて例年よりも豐作なるも昨今旱天續きしため或は結果に如何ならんと危ぶむ向きなからず又稻の揷苗も目今最中なるが旱天のため用水不足し田畑龜裂を生じたる個所ありて稻苗難しつゝあるも若し降雨を催ふす如くなりたれば此憂にも及ばざるべしと云ふ

●金融組合の開業期

增設さるべき金融組合數の三十ヶ所なる事は既報したるが右三十ヶ所中大半は既に設立委員の任命濟にして七月頃開業を見るべく其他は多分九月ならんと云ふ



外事一束

▲惨死● 獨逸飛行家センデル氏は伯林郊外飛行中墜落運轉手と共に即死す。

▲伊國● 外相は下院に於て伊墺同盟の確乎不拔なる事を切言し又飽迄土國の領土の保全を尊重の事及び土都に於ける列國行動一致不可能を演說す。

▲抗議● 西班牙國軍隊摩洛哥國上陸に付摩國政府は之に對して抗議を提出す。

▲佛國● 政府は千九百四年度締結の西班牙佛國間秘密條約を廢棄の意あり。

▲墺國● 外相はアルバニヤ問題に付て墺都駐在土耳古大使と圓滿の協議す。

▲火災● 黑龍江航運中の露國汽船ムラヴヰエフ號火災に罹り乘客百人燒死。

▲倫敦● 市長は十四日遣英日本軍艦乘組員の爲め一大歡迎會を開きたりと。

▲墨國● 大統領後補者レースは候補辭念マデロ氏を推選する旨全國に布告。

▲討伐● 土耳古のアルバニヤ叛徒征伐功を奏し叛徒は黑山國に潰走せりと。

▲清國● 直隸總督は兩廣總督と財政上意見を異にし政府に辭表を提出せり。



召使れ初　第七十九回

黑法師

「それはぜに云やるなら、好い智惠を貸して進せるわの」

相生の膝は進むこと一尺なりき、鶴右衞門の耳は兎の如く欹つ

「お助けを願ひまする、この御恩返しには、一命をも捨てますする」

「つまりお道ぜのが、淨潔れ身で、お下りになれば好いのであらうがの」

お遣は　しがなくござるわの」

「この消息、何處へ遣はすのでござります」

「お道ぜのへ遣はすのぢや、このお手紙お殿樣お目に止れば、お道ぜのにお手は付かぬ、痩せても松平周防守樣お人に關係あるをお側へ召させることあるまいわの」

「こりや好い御工夫でござります」鶴右衞門は悦々して「然し、左樣な手紙、お道ぜのへ差し上げることとなりませうかな」

「さうぢやのう、お殿さまお目に觸れぬ中、外々のお手に入つてもならぬで、私が預つて歸らうかの」

「其外に望みでござりませぬ」

「淨潔れ身で、お下りと云ふ事が、口に云ふは易いも、實地にするは難し、いで、こなたお道ぜのへ消息認めねばならぬぞよ」

「何の樣な物でも認めます、あなたお指圖を遊ばしませ」

「お道ぜのお身を淨潔で下げるには、お殿樣お心からお道ぜのお姿を引き放さねばならぬわの」

「左樣でござりませうな、これの手術肝要でござりませうな」

「こなた消息魂膽は此處にある、隨分人の心を惑くやうな媚いた事認めて



「あなた樣お手數を煩はすは、却て心苦しうも心得まするが、外に好い分別はござりませぬか喃」

「いやいや、私は聞はぬ、手を付けぬ前であつたら、柳の枝の糸に貫く露をも厭ふが、斯ら世話を仕掛けるからは何處までも味方になつて、こなた行末の爲めを謀るが當然ぢや、私が手づから屆けて遣せるも、少し休息する間、思ふまゝを認めてはどうあるの」

「何から何まで難有いお詞でござります、あなたさまお情で、お道無事に下つて參れば、私外に思ふことござりませぬ」

「早う認めやの、私はまだ外に立ち寄る處もあるでの」

「畏りでござります、それでは少時お待たせ下さりませ」

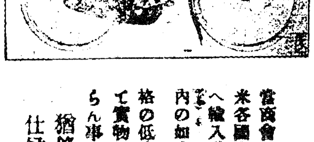
「鶴兵衞には秘密、覺られてはならぬ、お殿樣お目に止つて、今にもお手の附かうといふお方へ、お手紙の取次など致す事、お年寄衆のお耳に入るとそれこそ私の身の上もやで、そなた如才はあるまいが、覺られぬ用心してたもらねばならぬでの」

「御恩を仇で返すこと致しませぬ、其儀は御安堵あらせ下さりませ」

鶴右衞門は云ひ捨てゝ立ち去りぬ、後には古銅獅形の香炉よりはたよくと香の煙立ち昇りて何處ともなく花の匂ひ芬々たり

相生は意外に事の容易く運びたるを悦びぬ、鶴右衞門のこの消息齎らせて御殿へ歸らば、深野さま如何に歡びたまふならん、この消息原因となりて、お道ぜのお身の破滅とならば、お年寄の耳に入る世の光り現はれて、鶴右衞門手紙、我身出まじきものにもあらず、早く見たや、早く見て、お道ぜのを突き落すべき陥穽の深さを知りたや、お年寄衆の文言、什麼樣に認め來るべきか、折柄間の襖を開きて、次の間に平伏するは主の鶴兵衞なり

「相生さま、來らせられませ」



時間表
[illegible]

東京電報（十六日發）

▲大鳥男薨去 男爵大鳥圭介氏は十五日午前六時逝去せり終に危篤の報天聽に達するや正二位に陞叙せられたり

▲工兵特別演習 本年の工兵特別大演習は九月十日より十日間豊後日出に擧行し十三師團參加すべし

▲海軍異動發表 海軍將官に本日左の如く異動發表されたり

海軍機關少將 山縣鶴之助
免本職待命仰付けらる
同横須賀鎭守府機關長 市川靜次郎

▲朝鮮派遣隊轉補 朝鮮派遣隊將校本日左の如く轉補ありたり

免本職補十三聯隊大隊長 朝鮮派遣隊少佐 有賀定雄
歩兵五十三聯隊大隊長 少佐 石川光次郎
免本職補朝鮮派遣隊第一大隊長 同歩兵少佐 五十嵐多一
免朝鮮派遣隊第二大隊長 補歩兵第四十三聯隊大隊長 同少佐 上野佐宮

▲陸軍異動發表 陸軍將官本日左の如く異動ありたり

陸軍中將 大藏平三
同 少將 有坂正章
待命仰付けらる
陸軍少將 本田道純
免本職補軍馬補充本部長 陸軍中將 楠瀬幸彦
免本職補陸軍技術審査部長 陸軍大佐 武田三郎
任陸軍少將 陸軍大佐 野中勝秋
任陸軍少將、補由良要塞司令官 騎兵大佐 河村修一
任陸軍少將補第三師團參謀長 陸軍大佐 荻下純
任少將退役仰付けらる

▲特志家に贈金 特志家に對し內務省より賜金の通知ありたり

▲關西地方の强雨 吳、門司、熊本方面に强雨あり被害少なからざる見込なり

▲南極探檢の再擧 野村開南丸船長昨十五日入京せしか近々再擧すべく言明せり

▲飛行機取締 飛行機將來往々あるに付內務省は之れが取締法を別定すべく目下調査中なりと

▲軍艦河內艤裝 新造中の軍艦河內は來月十一日頃艤裝終了し明年一二三月頃公試運轉を行ふべし

雜報

●船舶令の起草濟 朝鮮船舶令は既に當局にて改定案起草濟の由なるが何分非常の大部分のものなれは之が審議に多少の時間を要すへく改定法案の發布さるゝは二三月以後な

●憲兵隊長警務部長會期變更 會の筈なりし憲兵隊長警務部長會議は開期日を變更し本月二十七日より開會する事とし十三日明石司令官より本月二十六日迄に參集すべき旨電命を發し

……しとの事也

●定例長官會議 十六日午前九時より總督府に於て定例長官會議を開き寺內總督を始め倉富、石塚、荒井、宇佐美の各部長官、明石警務總長、池田通信局官、俵鐵道局長、小城長官代理列席し午前十一時散會したり

●各道別植樹數 農商工部調査に係る本年度各道に於ける春季植樹數を聞くに百四十二万四千百七十一本にして之れに京畿道の國費增林植樹七十八万本を加算せば實に五百二十萬四千百七十一本なるが之れを各道別に記せば左の如し

道名	本數
京畿道	三一四、一五五本
忠清北道	三五一、六〇八
忠清南道	三〇五、八一四
慶尙北道	六〇八、三四〇
慶尙南道	四二六、五七〇
全羅北道	二五二、四二九
全羅南道	二九〇、六一〇
江原道	四六、七六〇
黃海道	一三八、八〇〇
平安南道	四一八、一一八
平安北道	二〇〇、〇〇〇
咸鏡南道	一、〇二一、九六七
咸鏡北道	五〇、〇〇〇
合計	四、四二四、一七一

●砂金輸入の免稅 間島より朝鮮へ向け輸入せらるゝ砂金は淸國側に於て輸出稅を徵收するため永瀧總領事より伊集院公使に對し淸國政府へ知照方申請ありたる結果今回砂金の輸出には課稅せざる事に決定したる旨在淸伊集院公使より寺內總督へ通牒ありたり

●濟生會と朝鮮 濟生會は今回全國の富豪より醵金をなさしむべく協議中にして東京府は既報の如く略決定し全國の分も近々確定する由なるが右に關し朝鮮各地の內地人富豪よりも醵金を募集するの噂あるも拓殖局當局の語る處に依れば今日までに殖民地の各長官に對し寄附依賴を申込みたる事なく從つて在朝鮮內地人富豪より義金を募集する事はならざるべし尤も朝鮮等各殖民地在勤の官吏醵金に關しては現に交涉中なるが多分醵金せしむる事に決定すべしとの事也

●廳舍移轉と舊衙 總督府の增築工事竣成の曉には永樂町なる農商工部、貞洞にある度支部、司法部及會計局營繕課等は皆該新築へ移轉する由なるが農商工部度支部等の現在の建物を如何に利用するかに關し目下夫々詮議中の由なるが多分中樞院取調局は現在の司法部廳舍に土地調査局は現在の外事局及營繕科の建物を並用すべく而して農商工部度支部の兩建物中何れかを高等法院に充てん筈にて

何れ近々の內決定すべしと

●土地家屋證明件數 昨四十三年中に於ける總督府所屬官署に於て土地家屋の賣買贈與交換典當等の證明件數は五万九千六百六件にして同價格又は債權額は一千六百九万一千三百四十一圓二十六錢九厘同手數料四萬七千八百十七圓二十八錢四厘なりと

●東拓と移民事業 東洋拓殖會社にては漁業は成績不良なため蔬菜栽培は當局の農業政策と背馳するため何れも業を中止したるが今後は主として移民と土地開墾及金融業とに全力を盡す筈にて就中移民の如きは北海道移民等と趣を異にし又單に一般殖民地の移民とも方法を同じくせざる者ありて內地人の居住するの比較的僅少ならざる地に我內地人を移住する者なれば居住の點に於て深き注意を要し且土地とても開墾されある場所多きなのを更に耕作せんとする者なれば是亦不如意の點あり旁々今後は專ら此移民及土地開墾の大事業に專心從事し好果を收めん方針なりと而して現今募集中の第二回の移民狀況を聞くに申込者僅かに三百余戸に過ぎずして希望者の援護余り面白からざるを以て更に內地各地方の新聞に普ねく移民募集の廣告をなしたりといふ

●大田に旅團設置說 大田 大田に一旅團設置さるべしとは湖南線着手當時より噂んに噂したる處なるが頃者道途傳ふる處に依れば愈々旅團設置は事實となりて現に目下豫定地拾五萬坪買收中なりと爲に人氣俄かに沸騰し市街宅地耕地は一躍從來の倍額を唱ふるに至れりとの通信に接せり此報傳に信じ難きも此處には一說として掲ぐ

●柴田總裁の出發 柴田拓殖局總裁は十六日午前九時發西韓視察の途に就きたり停車場には國分局長、秋山參事官、兒玉局長、中山書記官多數の見送りありたり三本該道參事和田試補は案內として同行せり

●京城民會招集 京城民會は愈々來十九日午後三時より民團樓上に於て開會すべく本日招集狀を發したるが議案は報道せる如く小學校新築并增築是等附帶の更正豫算、火葬場使用規則改正外二三件なり因に記す小學校の新築增築豫算は十四五萬圓を計上し居るよしにて一時に十萬圓以上の巨費をその事業に投ずるは民團創立以來今回を以て嚆矢とすと

●軍人會の餘興 次項所載の京城在鄕軍人會文部並分會發會式に就ては寺內總督以下官民、軍人、會員より多數金品の寄附ありたる由なるが餘興の寄附に付本日まで確定せしは左の如くにして尙は續々申込みあり伊藤友次郎氏は會場の設備裝飾等一切を寄贈せりと

△擊劍（警察及憲兵隊）△銃劍術（京城守備隊）△劍舞（龍山南整正光）△柔術（修武館門生）△講談 千湖△花火若干（瀨川及島田）△樂隊（軍樂隊）△角力（京城消防隊）

●奥州畫伯展覽會 畫伯藤井江…事氏と共に新進の…に從事する傍ら毎日新聞報知新聞の美術欄を擔當し新聞界のオーソリチーを以て目せられたる由なるが先づ其の既作の畫幅に就き諸家の高批を乞ふべく當地大官紳士の賛助の下に來る十七日午後一時より十…會を開催すべしと因に陳列せる作品は…希望の向へのみ頒布する筈なりと

●京城軍人會擧式 次第 京城在鄕軍人會支部並分會發會式は來十八日午後一時より景福宮內慶會樓に於て擧行の筈なるが當日の擧式次第を聞くに左の如し

總會及發會式次第書

一 喇叭にて會員着席（午後一時）
二 開會の趣旨說明支部及分會假規則朗讀（京城憲兵隊長）
三 評議員選擧
四 分會長分會副長、理事、監事、互選
五 支部評議員支部副長、同理事、監事の指名
六 支部及分會役員の挨拶
七 會旗授與式

發會式

一 喇叭にて來賓及會員着席（午後三時）
二 式辭（支部長）
三 勅諭捧讀及趣意書、宣言書の朗讀（分會長）
四 來賓の祝辭並講演
五 祝電朗讀、寄贈金品の披露（支部長）
六 君ケ代奏樂
七 喇叭にて食堂開始（此間奏樂）餘興（擊劍、銃槍、柔道試合、角力、講談、落語、烟花）但會員は可成多數飛入を希望す
八 隨意解散

●仁川の金融狀況 仁川 仁川に於ける三銀行五月中の統計如左

△諸手形取扱高▽

種目	仕向高	被仕向高
送金爲替手形	九七〇、一七四圓	七四五、六六八圓
荷爲替手形	三三〇、六〇三	五五、三七一
地所割引代金取立	四一八、〇八一	四二九、七七三
合計	一、六〇八、八五七	一、二三〇、八三三

△預金出入及貸出高▽

取扱預金高	四、〇七四、七一九圓
預金拂戻高	三、九九七、一六七
貸出取扱貸出高	一、九八九、三二八
同入金高	二、〇二九、八四三

△金利高低表▽

種目	最高	最低	普通
	厘	厘	厘
定期預金	五三	五〇	五三
貸付日歩	三三	二四	二七
當座預金日歩	八	八	八
割引日歩	三二	二六	二九
小口當座日歩	一〇	一〇	一〇
當座貸付日歩	三三	二六	三二
荷爲替日歩	三七	三〇	三三

△對穀物有價證券貸出高▽

一 穀物に對する荷爲替取扱高	一九八、五三四
二 同擔保貸出高	三七二、三八九
三 同割引手形高	一五七、五九六
四 有價證券擔保貸出月末殘高	一七三、三二九

●仁川商議候補運動 仁川 仁川日本人商業會議所にては來る廿六日議員十四名の改選並に會頭副會頭の選擧を行ふ事に決定し去十五日より選擧人の名簿を縱覽せしめつゝあるが今一般候補者の顏振を觀察するに豫想外少壯者の連中よりボツボツ運動を開始せる者ある由なるが就中會頭副會頭の人選には新智識を有する少壯者中より選擧せんとする模樣なれば愈々選擧間際とならば多少の競爭を生ずるならんといふ

●柴田總裁招待會 近々再び入京の筈なる柴田拓殖局總裁の歡迎會は來る十九日開催の豫定なりしも都合に依り二十二日に變更されたり

●戴冠式と英館 來廿二日は英國皇帝ジョージ第五世陛下の戴冠式擧行の筈なるが當英國總領事館にては當日正式の祝賀を受けざるよしにて其旨總領事代理アーサー、ハイドレー氏より總督府及各國領事館にそれぞれ知照し來れり

▲人さまざま▼（五十四）

岡正矣君

岡正矣君と云へばチヨト知らぬ人もあるか知れぬが鐵道の岡君と云へば當地官民中に知らぬ人は無い位だ、君類齡腰に弓と云ふ程でもないのに休職となつて官界の落伍者の如くなつたから君の友人等は聊か無情を感じつゝあつた、トコロが其心配は本人に於ては知らぬが佛、繰上げて休職となつたのも實は日韓瓦斯電氣へ入社する爲めであつた、君が新たに得たる地位は前記會社の支配人であつて、外見よりすれば高等官三等たる君としては聊か左遷の樣だ、併し良く考へて見ると君の自由手腕は之から振はれるのであつて偉らいも偉らくないのも實は今後に於て相判る譯だ、君の出生地は伊豫、兄弟に海陸將官あり、併し未だ故鄕や兄弟の事を口にした事なき君は官職に居たときも相變らず一の前垂主義、日鐵仕込其儘である。のだ器はチヨツトやるが其外の藝事は下手だ、只だ酒に到つては所謂岡式斯込にて普通のより以二十錢つつ高く出すのだソウだ。

●英領事館園遊會 當駐在英國總領事代理ハイドレー氏は來る二十日午後四時より同領事館に於て同國皇帝陛下戴冠式奉祝園遊會を催ふし寺內總督、大久保軍司令官、各部長官、各國領事其他文武官民多數を招待する由

●水電調査官任命 既報の如く詮議中なりし朝鮮水力電氣に關する調査官は愈々臨時發電水力調査局技師山崗元一氏總督府技師に補し二三下僚と共に就任次第調査開始の筈也と云ふ

●尙州の金鑛將來 從來慶尙北道尙州方面は良金鑛の存在する事と…る有望なりと

●鴨綠江回漕會社計畫 鴨綠江 鴨綠江流域に於ける貨物運送に關して當局にては某方面よりの提議を容れ官民協同の一大會社を設立し大に我商權の發展を企圖すべく既に計畫成熟し昨今交涉中なるが多分八月頃當業者の實地調査を待ち會社設立を見るならんと云ふ

●全南の農況 全羅南道 榮山江附近の農況を聞くに五月中旬頃迄は降雨少なく氣候の激變も甚だしかりしより一般農民は今年も昨年同樣凶作ならんと杞憂せしが其後降雨其度を得稻苗の發育佳良なれば今後大なる天災なき限り平作に二割の增穫あるべしと同地近信に見へたり

●軍人會旗到着 京城在鄕軍人會分會々旗は昨日東京より京城憲兵隊に到着したれば來十八日の發會式には會旗授與式をも擧行する筈なり會旗は第五號分にて一流五十餘圓を要し壯爽なるものなりといふ

●漢城高女學藝會 官立漢城高等女學校にては十七日午後一時同校生徒學藝會を催ふし同時に生徒成績品を陳列し來賓に觀覽せしむる由尙十八日午前八時より午後三時迄の間成績品を一般に觀覽せしめ希望者には成績品を即賣する筈なりと

●迎日灣金融機關 聞く處によれば慶尙道北海岸迎日灣浦項港に於ては土地發展上一の金融機關の必要を感じ其の設立を屢々當局に請願しつゝあるが同地に就ては明治四十二年同四十三年に亘り其筋にても再三調査を遂げ時の財務監督局藥事務官農銀本店支配人安川氏等も其の必要を認めつゝあるにも係らず度支部に於ては未だ何等の通牒を發せざるより慶尙北道財務部にては又々調査を遂げ申請中なりとの事なれば其設立を見るも近にあらんと

●李王妃殿下の臨場 李王妃殿下は十六日午後三時より中部觀親洞の恩賜授產場に臨場遊ばされ主として同所の實況を御覽相成りたるが陪乘者は內人二名にして閔長官小宮次官も隨行したりと云ふ

●川村鐵太郎伯の入京 伯爵川村鐵太郎氏は朝鮮視察のため昨日午前入京大久保軍司令官邸に投じたるが京城にて四五日滯在の筈なり

●藤井代議士の入京 國民黨の代議士藤井善助氏は十五日夜入京京城ホテルに投宿せり

●柳參與官代理臨場 柳京畿道參與官は道長官代理として小山學務主任官と共に十六日午後一時麻浦公立普通學校開校式に臨場せり

●古城民長には 古城民長には微恙ありて昨日より自宅に引籠加療中

●日鮮人の紛擾事件 去る十二日鳥山府居住農夫石井盛太は內地人農夫六名及鮮人農夫八十名を使役し煙草苗の植付中內地人農夫が鮮人の農夫と口論の末毆打したるに鮮人農夫は非常に激昂し兩者間に紛擾を起して一時は仲々の騷ぎなりしも遂に示談の上事濟となりたる由也

公人私人

▲和田維四郎氏（工學博士） 十五日天眞樓へ
▲藤井善助氏（代議士） 同京城ホテル
▲菊池謙讓氏（大邱民長） 同浦尾旅館
▲水谷千万吉氏（海軍大佐） 同山本旅館
▲吉川岩吉氏（平壤鑛業所業務課長） 同同上
▲小鹿島銕氏（銀行支配人） 同同上へ
▲山田內藏治氏（醫師） 同同上へ
▲渡邊省三氏（副領事） 十五日釜山行

▲仁川港の出入船舶▼

▲吉辰丸 十七日大阪より入港

▲京城手形交換高▼

六月	金高	枚數
十六日	一七二、五五八、八二〇	四八〇

內地巡禮日記（六）

水浪生

伊勢に關する余の記述は既に五回を重ねた、而り五回を重ねて、余の言はんと欲するところは、殆んど言盡した、されは余は本稿に於て御分靈遙拜所及神宮奉齋會等に關して余が所得しところを記述し、不完全ながら茲に巡禮伊勢の卷を了ることゝなさむ。

一御分靈の事 外々の神社には神體或は神鏡等を別けて分靈奉祀の事を爲し能ふと雖も、天照皇大神宮に就いては古來分靈奉祀を許されたる例なし、世に大神宮の分靈を以て可能の如く說く者あるも其は說く者の誤りなり。

一遙拜所の事 例せば東京日比谷に於ける皇大神宮の如き、一見分靈奉祀の神宮の如きも實は單純なる遙拜所に過ぎず、世人往々にして遙拜所を神宮其物とす、思はざるの甚しきものなり。

一神宮奉齋會の事 神宮奉齋會は元の神宮教會の解散したるときに非宗教的に神宮に奉賽するの目的を以て組織されたる公認團體にして會長は公爵二條基弘なり、同會の目的は神宮の尊嚴を欽仰し皇祖の懿訓と皇上の聖勅を奉戴し國典を攻究し彝倫を講明し國禮（宗教に渉る儀式を含まず）を修行し神宮大麻及曆頒布の事に從ふにあり。

余滯在中偶宇治に於ける神宮奉齋會大本部前を通過す、構內集ふところ幾千人、就いて聞けば皆之れ會員なり、神宮崇敬の機關（若し機關と云ひ得べくんば）奉齋會を以て偏はり、世をして殆んど遺憾を感せざらしむるの觀あり

▲茶袋▼

頃日本國の各都市の稅務に就て調べたものを載せた雜誌を繙いて見ると、納稅に郵便振替貯金を利用せしむることが納稅者に便利を感せしめ、之をやつてをる所は悉く徵稅上至大の好成績を收めてをる▲都市の中一番早く郵便振替貯金の利用を納稅上に試みたのが大阪市である、大阪市が此方法によつて市公金受拂事務を開始したのは四十二年の五月である、開始以來の成績を見ると同年度の取扱口數郵便局分六十一萬三百九十口四百二十八万二千三百七十九圓、市役所分五十四万七千九十八口二百六十八万千四百七十六圓となり始めた年から稅金を郵便貯金に振替へる者が多くなつてをる四十三年度になるとズツと郵便局扱ひが市役所扱より上つてをる▲大坂の好成績に見て始めたのが京都新潟和歌山岡山等の各市であるが何れも大阪に劣らぬ結果を得、殊に京都新潟及び和歌山の如き政府が振替貯金規則に依つて附與する利子額は振替貯金料を超過して幾分の餘裕を生ずると云ふ好況を呈して居る▲要する此法を用ゆる利便をかい摘んで云へば（第一）納稅人は最寄の局所に於て簡便に納付が出來る（第二）日曜大祭祝日等の如き公暇日でも取扱はれ其上土曜日も半日でなく仕事にならぬ（第三）若し納稅者が振替貯金の加入者であれば現金を持參するに及ばぬ（第四）役所側から云ふと納稅手續が簡便なるために自然滯納者が減つて來る（第五）役所の會計事務の整理も容易で收納金の運轉に注意すれば相當の利得も出來る▲京城民團の如な滯納者の多い所でも一つ此便法を利用したら如何だらう、納稅者の爲に特に出張所を設けるといふ苦情も要らなくなり、幾らか滯納者も減りはせまいかと思はれる、一つ民團當局者に於て極めて眞面目な考へを以て其實施に就て研究をして貰ひたい

群山俄道中記

ヌ 便

六月四日 山重水鋪生

天候のため俄かなる豫定變更、群山全州江景等巡視の途より、踏續こつめかけた來賓は、途中で機氣は盡きた連中、歸れと云つても梃子でも動かぬ覺悟はあり〳〵、一同こゝに、一夜假寢の草枕。

一夜旅、枕の向も定らず

中村農商工部農務課長一行、藤原度支部銀行課長は、式場より二里半の川崎農場へ、深尾内務部書記官一行は、附近の憲兵駐在所、其餘は組合事務所に大入繁昌、たゞ縦横のれ客さまの氣樂さに引替へて、式場の設備一切萬端これはその用意。交通不便な片田舍で失費と不便は嘸かしと藤井組合長、川崎理事、其他組合員一同の苦勞の程も思ひやられた。

鄕多分には洩れざる金も、麻生警察署山出張所長、渡邊群山十八支店長、有志千葉君津殿君、龍門君等と都合八人浪漫離破の光景よろしく、ひくつけ男の算を亂して、雜魚寢は十疊の混突なり。

今宵忽として天の一方より美人現はる、年はと見れば聊か古色を帶びて三十五六、舊式の束髮に海老茶袴、色はサテ白からざれど、白粉のある世の中に敢て落膽すべからず、男八人を相手に取つて毫もひるまぬ舌力非凡、英語で話せば支那語も上手、朝鮮語もうまいそうで、歌も作れば詩は出來ないが、舊の異似位は出來る由、發句はどうだか知らないが、手紙なんぞは決して金釘流に非ずといふ、遊藝に至つては琴三味線ピアノオルガンヴアイオリン、一も知らずといふことなく、踊りもやれば歌ひもする、いづれは一箭縄ではゆかぬ方と、失禮ながら内々眉に唾をつけ、見て居れば、實に手八丁口八丁、立板に水どころか、水道の栓を拔いたる如し、話すといふより寧ろ話しを讀むやうだとは龍門の陰口、全く以て群山なんぞに燻つて居らんより、思ひ切つて博物舘あたりに出品する譯には行くまいか、成る程其の横才辯才では、平地に波瀾ぐらゐは屁でもなからうな爆發性、近寄つて手を燒かぬ用心が肝要也。

聊か氣焔に君かれ氣味で外に出づれば、目前十歩、朦朧として立つ人影、どうやら見たような立寄れば、六年前東京で暫時一所の釜の飯を分けて食たこともある、當時全州農工銀行支配人法學士岩崎虎次郞君、之はとばかり互に奇遇に驚きながら、岩崎君の室に

山道亞川の公判

雜誌「新半島」主幹山道襄一に係る名譽毀損刑事被告事件は既報の如く十六日午後二時京城地方裁判所刑事部大法廷に於て塚原裁判長、堀、原兩陪席の係りにて境檢事立會の上公判開廷せられたり被告辯護人として木尾、岩田、永井、辰市、大崎の各辯護士、附帶私訴代理人として辯護士白井勝吾氏出廷したり被告は金縁眼鏡にフロツクコートを着用し風采頗る揚れるに反し意氣極めて銷らず傍聽席には傍聽人は日本内地新聞特派員を初めとし通信社員新聞記者等約四十餘名なりし警務總監部機密課の森警部も私服にて傍聽席に在りき被告側よりは速記記者として谷岡……

牧山耕造なる人が社會の木鐸たる新聞記者なれば本官は信ず 萬人に斯くの如き卑劣な行爲なしと

悔悟の自白(二)

金波投

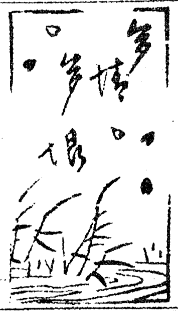
女振り(三十二)

佐藤かよ子

演藝だより

藝妓の半生(卅五)

清水席 笑太郎(二)



清水席の發展

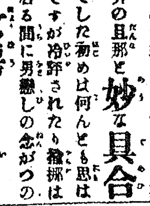
大角力の入京

藝妓供給の方法の記錄を破つて

報酬に

獄舍に冷たき夢を結んで居る藤井太郎

藤井太郎君面白からぬ事あつて去る頃當地を引き揚げ北韓淸津に落ちたが又々面白からぬ事あつて今では獄舍に冷たき夢を結んで居る人即ち夫れである、笑太郎と太郎君との馴染は彼の女の口を藉りて披露する事にする『旦那さんも大變な事にれ成んなすつたつてね、新聞で見て吃驚しましたよ、……エ、吃驚しましたとも人情ですワ末綠ですか何ですか知りませんが忘れはしません、初めて私目に掛つたのが淸水席が獨立した年の十二月二十日でした幾代から笑ちやんれ座敷と云ふので行つて見るとれ客樣は藤井さんと夫れから藤井さん所の通譯であつた人で今度大邱裁判所の通譯になつたと云ふ鍛筋さんとれ二人。れ酌は私と幾代の娘さんのれみつ姐さんとでした、其の晩から藤井の旦那と妙な具合になつたのでした初めは何んとも思はなかつたのですが冷評されたり揶揄はれたりして居る間に男戀しの念がつのる旦那は私を女房にすると云つて下さる夫れを岡燒半分の幾代のれみつ姐さんが慾と二人連れの藤井さんに關係をつけたと知れて競爭したが金錢や腕では迚も勝てないモウ一生懸命の夜も十二時過花から歸つて夫れからを鮮人部落の淋しさも恐さも忘れ果てゝ黃金町のれ宅まで宿に行きましたのも幾度でしたらう、面して誠を運ふ内旦那は迷々ア、云ふ事になつて終つたので私れ氣の毒やら口惜やら落膽して終ひました、と云つた如な譯ですもの旦那の身に變りがあれば驚きもすれば泣きもします、末綠ぢやないの、無理ぢやないの只れ氣の毒なと思ひまし



●諸公債諸株券 現物賣買、迅速確實に御取扱可申候
兼業 既製洋服卸小賣 諸官衙御用達
京城本町三丁目 大阪野村銀七代理店 田中友吉商店



大學目藥
かれこれと迷ふこと勿れ 完全無缺の大學目藥あり
大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基きし貴重の製劑にして●流行目ハトラホーム●爛目●のぼせ目●かすみ目●疲目其他眼病一切に可驚奇効あり
發行所 元 大阪市北濱一丁目 參天堂藥房



かぜねつの最良藥
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番 振替口座京城千六十八番

米白精 …所 京城米倉町

最上醬油
釀造元 千葉縣銚子町 岩崎重次郎
發賣元 京城本町壹丁目 三巳商會 電話七五三番

懷中良藥仁丹



●仁丹に限る 湧き返る信賴の聲
之ぞ仁丹を、飲むとスグきく自然の證明、イザく御服用あれ
朝鮮代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房

專賣局販賣品
土耳古 紙卷莨金口 SKS エスケーエス
特約販賣店 京城辻屋 平壤啓昌洋行 龍山貴田 鎭南浦宇津木 木浦沖永 馬山西川 公州中芝

蚊帳の必要正に急なり
最新式縫目なし染分蚊帳菊水枕蚊帳を初めとして瀨戸蚊帳株式會社特製品全部ピンデ入らず旅行便利かやに至る迄色々取揃へ蚊帳なら唐川へとの御評判を益々得度充分勉强致します
今回は特に六月五日より六月二十日迄正札より五步引現金に限りと致します
殊に地方よりの御注文は御安心遊ばす樣最も迅速に御發送致します
京城明治町一丁目(電話二六一番) 唐川吳服店蚊帳部

M.C.C.
專賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮内は大安賣
土耳古 紙卷 エムシーシー
京城、平壤龜屋——釜山、木浦、群山高瀨支店

銀行一般の業務精々御便利に取扱申候
株式會社 十八銀行支店
京城黃金町(銅峴) 電話四二〇番 五八〇番
○本店 長崎市
○日本、朝鮮の各樞要地並に露領浦鹽、淸國安東縣、大連に支店、出張所又は爲替取引先有之候
○株式會社長崎貯蓄銀行京城代理店として貯蓄預金取扱申候
◎貯蓄預金
○元金百圓に付日步一錢二厘
○一口一錢以上何程にても御預り申候
貯蓄預金受拂共精々御便利に取扱申候

くだり病一切の特效藥
健胃固腸丸
●主治 ●赤痢病●コレラ病●腸胃加答兒等に用ゐて實効迭なり ●常に貯へ置き朝夕五粒づゝ服用せば腸胃の衰弱を治し食物の消化を能くす
藥價 貳粒入五錢 四十五粒入拾錢 百粒入貳十錢 三百粒入五十錢 七百粒入壹圓
本劑は全國到る所の賣藥店に取次販賣せり
にせ物あり御購求の節商標と谷回春堂を御注意
本舗 大阪市東區伏見町堺筋角 谷回春堂 (電話東四五八番)(振替貯金番號八三〇)
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 振替口座京城十六番 電話一〇六八番 九四〇番

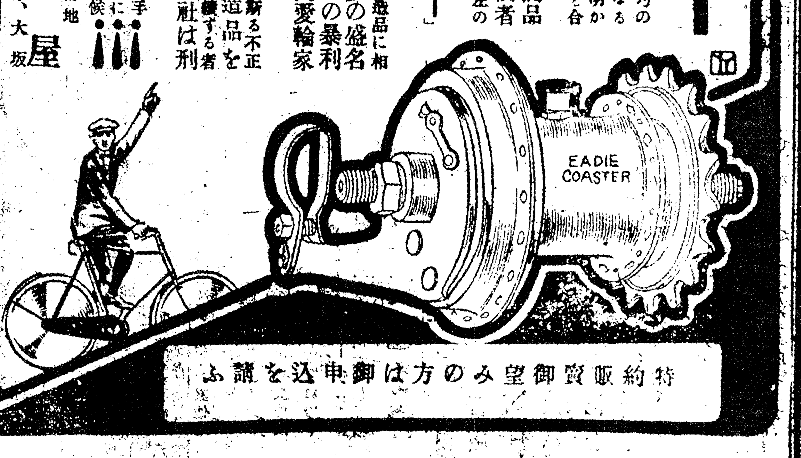
本場精撰 茶
右銘茶各種新物續々入荷に付御小賣さも大勉强仕候間多少に不拘御用命願上候
仁川本町四丁目(府廳通) 田中芳春園 電話四五〇番 振替京城五〇二番

◎貸金 組車 旭町二ノ一五別府 有給者には極秘密に低利融通可申候 高橋小路筋向

す津祢
京 割烹 流齋 南山町一丁目 電話千五百二番

イーデーコースター京城特約販賣店 京城本町二丁目 織居自轉車商店 明治町 瀧川自轉車商會

世界最優等自轉車用
登錄商標 EADIE
イーデーコースター
英國バーミングハム市ビー・エス・エー會社獨特精巧の製造に係る自轉車用「イーデー・コースター」の完全なることは日々全國の愛輪家諸彦より賜はれる讃辭に依りて明かなる所に有之候之れ製造社のみならず其の總代理店たる合資會社二葉屋の最も欣幸に堪えざる所に御座候
然るに近來「イーデー」の商標を附せざる類似商品を「イーデー・コースター」なりと稱して販賣候者有之趣傳聞仕候に付き早速英國本社に照合せ申候處左の如き返電有之候
我が社は「イーデー」の商標なき「コースター」を日本市場に供給したることなし
從つて「イーデー」商標を附せざる前記類似商品は全く僞造品に相違なき事實を確め申候是實に「イーデー・コースター」の盛名を羨み劣惡の商品を「イーデー」と詐稱し不正の暴利を貪る者に有之本社總代理店の損失は兎も角愛輪家諸君の御迷惑不過之事と存候
就ては向後前記商標ある保險附精確なる商品を御購求被下斯る不正品に欺瞞致されざる樣御注意迄謹告仕候尙將來に於て僞造品を單獨又は自轉車に取付け販賣して詐欺的行爲を繼續する者見出候はゞ愛輪界公益の爲斯る輩に對し「イーデー」本社は刑事上の制裁を仰ぎ候決心に御座候
!!!追て右商標なき僞造品を御求めの場合有之候はゞ御手數ながら御買入代價に郵税を加へ代金引換小包郵便にて弊店へ御送附被下候はゞ取調上幸甚の至りに御座候!!!
東洋總代理店 合資會社 二葉屋 東京市赤坂溜池町五番地 支店 東京、大阪



特約販賣御望の方は御申込を請ふ

澤庵問萬屋 東京

純良消毒牛乳 京城南山町 岡野牧場 電話千六十九番

特製 寶味噌 御料理向
味噌製造漬物問屋 仁川本町三丁目 たからや 電話七三七番

入院隨意 中島醫院 京城壽町三丁目(電話三七八番) 院主醫學得業士 中島貞信

直輸入新荷着
英國製 實用車 ブライト號
歐米各國自轉車直輸入商 京城本町二丁目 織居商店自轉車部 電話四八〇番(電略オ)

牛馬犬猫 治療所 入院隨意 京城明治町三丁目 小川家畜醫院 院長小川龜太郎 (電話四二七番)

義齒術全般 京城旭町一丁目 齋藤英壽 電話一四一四番

英國セフヒールド市シーボムアンドディキスタル製鋼會社特約品
鑛山用 地球鷲印八角鋼
道具用 同 角磨鋼
職工用 同 鑛各種
右は朝鮮一手販賣罷在候處滿鮮地石材穿鑿具製作用さして最も適當の爲め至極好評を博し價格亦内地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候
和洋金物商 釘本藤次郎本店 京城本町五丁目 (電話四五番・電信略號「ク」) 振替貯金口座京城二五六番

滋養 高等牛乳 京城南大門外 京畿畜産會社 强壯 電話八八番

芙江公州 間定期出帆廣告
芙江發毎日午後一時四十分公州着後六時 公州發毎日午前七時芙江着後四時半貨客便の御乘用として新聞雜誌寄贈其等の備付あり
京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

六月中 滊船出帆廣告
キ 海州行 安來丸 廿日、廿四日 海州丸 十八日、廿二日 廿六日、三十日
鎭南浦富里浦屯串行 三省丸 十七日、十九日、廿三日、廿四日
三吉里海倉喬桐行 貳號丸 十七日、廿二日
合資會社 秋田商會船舶部 仁川本町一丁目 電話一七三番七五〇番